

週刊新社会

12月26日  2017年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

一年間で愛読ありがとうございました。良い年をお迎えください

12月議会終わる 年明けは市議選の攻防へ

全休かと思われた野口義雄議長が最終日に元気な姿を見せ、議会は21日に終わった。市長提出議案16件、諮問3件が可決され、陳情1件は不採択、発議2件も否決という結果だった。

賛否がわかれたものは裏面の一覧表に示す。また、一般質問を行った議員は16名だった。なお、来年の市議選日程について、金子憲一選管委員長から5月20日告示、27日投開票と正式発表された。

来年度の国保料が上がるのでは本末転倒 2月初旬までぎりぎりの攻防続く

自治体運営から県単位となる来年度の国民健康保険料がどうなるのか。しかし、18日の国保運営協議会では提案はなかった。県の対応が確定する1月末の結論を受けて、2月初旬の協議会に提案されるという綱渡りとなる。

協議会に示された資料では激変緩和措置に伴い、野田市は平均2487円、2.3%の引上げとなる。

これは各自治体が保険料の安定のために行っていた一般会計からの支援、制度外繰り入れを全廃することによる。その分は国が補てんする建前になっている。

ただ、野田市はこれまで議会で、制度外繰り入れを廃止しても保険料の値上げはしないと答弁している。ぎりぎりまで保険料がどうなるのか、攻防が続く。

人間ドック開始・はりきゅうなどの助成変更

他方、野田市独自の施策ではこれまで取りつづけてきた固定資産税に係る資産割(5%)は廃止される。この影響がどのように所得割などに及ぶのかも注目される。

また、市民要望の強かった人間ドックの助成が始まる。費用の2分の1、上限1万5千円だ。他方、協議会には「はり、きゅう、あん摩」利用券についての提案がされ、決定してしまった。

この利用券の現行制度は利用者

(国保加入の45歳以上)が月2枚、年間24枚上限で申請し、利用1回につき800円助成されるもの。

それを年間利用枚数は現状としながらも1枚当たりの助成金を500円とした上で、1回に2枚(合わせて1000円助成)使えるようにするもの。つまり、年間上限助成金額では19,200円から12,000円に低下する。

理由は人間ドックなど予防にシフトすること、利用率平均は50%

常温核融合で放射能無害化!? ふざけるな

議員発議の「原子力発電所の再稼働中止を求める意見書案」に対する討論で驚くべき意見が述べられた。

政清会の古橋敏夫議員が放射能は常温核融合で無害化できるとの趣旨で発言。つまり、廃棄物の放射能を消すことができるのだから、温暖化防止のためにも原発は有効だという論理。

常温核融合で放射能を消す? 原発村の御用学者だって言わない疑似科学。あまりに聞き捨てならない発言だったので、おさなみ議員は急きょ討論に立ってその不見識を戒めた。

冒頭に政清会を代表してと発言したからには個人の見解ではない。最大会派の見識が問われる。

弱であり、1回の利用の助成を上げたほうが受益が大きいというもの。

しかし、平均で語るわけにはいかない。また、野田市の現行制度が近隣市に比べ優れているのもわかるが、あまりにも世知辛いやり方だ。これが鈴木市長のいう、市の独自事業を中心に、補助金、助成金等全ての予算における必要性や費用対効果等の検証の結果の一つなのだろうか。

職員の給与、期末手当引上げに 関係職員への無頓着も戒め

おさなみ議員は人事院勧告に基づく一般職の給与引上げ（0.17%）と期末手当引上げ（0.1 か月引上げて年間 4.4 か月）に賛成するものの、市関連事業で働く職員の現状に注意を促した。以下、討論全文。

私はただ今議題となっております議案第 10 号、一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に賛成の立場ですが、一言意見を付したいと思います。

まず、今回慣例となっております一般職の期末手当の変動に連

動していた常勤特別職と議員の期末手当増額を今回見送ったことは評価できるものです。

そこで意見というのは市関連の法人で働いている職員の労働条件はどうなっているのかということです。そこを見ないで職員だけと

いうのでは見過ごすことのできない差別感をもたらすのではないかと思います。

たとえば開発協会の職員です。期末勤勉手当に相当する賞与は夏が 1.90 か月、

この冬は台風の災害で 3 週間のクローズがあり、1.0 か月に減らされたと聞きます。協会で働く職員の責任でないことで責任を取られています。そもそも年間賞与上限は 3.26 か月だそうです。本俸は 9% カットが続き、人事院勧告による引上げとは無関係です。

こういうことに無頓着ではないと思います。このようなことを頭に置きながらこの議案に賛成するものです。

安倍政権の専横ぶりと腐臭が際立った政治の一年でした。来年はついに明文改憲の前夜となります。数の多数で、何であれ強行する安倍政権を侮るわけにはいきませんが、政権に反発する世論も根づいています。

「週刊新社会」元日号の「道しるべ」で、おさなみ議員が党書記長として運動を提起。乞うご期待。来年も頑張りましょう。



議案第 1 号で反対討論するおさなみ議員

表 1 賛否の分かれた議案に対する各会派の態度 △は会派で賛否の分かれたもの

議案番号	議案名	採決結果	新社会党	共産党	市民ネット	民主連合	無所属の会	市民の風	みん清クラブ	公明党	政清会
議案第 1 号	所得税法等の一部を改正する等の法律等の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第 4 号	野田市留守家庭学童保育所設置条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第 9 号	平成 29 年度野田市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○
諮問第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第 10 号	主権者の政治参加を促進するため、国政・地方選挙における高額な供託金制度の見直しを求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	×	×	×
発議第 11 号	原子力発電所の再稼働中止を求める意見書	否決	○	○	○	△	○	×	×	×	×
発議第 12 号	核兵器禁止条約を批准するよう求める意見書	否決	○	○	○	○	○	×	×	×	×